

## 感染拡大！新型インフルエンザ 乗客からも不安の声！列車内の 安心安全を早急に確保せよ！

### 日ごとに事態は悪化！再度緊急口頭申し入れ

本部は、新型インフルエンザが拡大する事態を受け、列車内の感染防止、乗客・社員の安心安全を確保するために、5月19日緊急申し入れ（申33号）を行ない、会社の早急な対応を求めてきました。

会社は、「対策本部」を設置し、逐次対応しているとの考え方を明らかにしましたが、21日現在、マスクの在庫不足の状況が明らかとなり、「当面する車内改札の中止」などの申し入れについても実施する動きがありません。新幹線では、新大阪駅においてはマスクの着用を指導していますが、乗務員の列車内でのマスク着用については認めていません。列車内は、密室であり感染の度合いが高い上、乗客からも不安の声が車掌に寄せられているとのこと。私たちは、一刻も早い対応を要求します。

1. 新大阪駅において、19日からマスクが2枚配布されていたが、20日より在庫不足のため1枚の配布となった。説明では在庫は十分確保済みとしていたがどうなのか。早急に確保し配布すること。
2. 列車内は密室であり、車掌は感染者との濃厚接触が一番高いが、新幹線では、列車を降りて（新大阪駅）からのマスク着用が指示されている。本末転倒であり、乗務中のマスク着用を直ちに認めること。

以上の2点について、「申」に追加し、緊急に口頭で申し入れました。会社は、乗客・社員の不安に応え、躊躇せず考えられる対策を早急には実施すべきです。

車掌のマスク着用を直ちに認め、  
当面、車内改札を中止せよ！